

夏に多い脳梗塞

脳梗塞は夏に一番多い状態です。夏は水いそぐです。

夏は汗をたくさんかくことで体の水分が減り、血液が濃く、流れるにくくなります。そして、熱を発散させようとして抹消血管が広がり、脳の血流量が低下するため、血栓

ができやすくなり脳梗塞が増えます。

中医学では、汗をかくと、水分とともに栄養や元気の元である「正気」も失うと考えます。これが気陰両虚

潤いを増やしてキープ、血脈を生き活きとめぐらせて、体を軽くします。

分やミネラルを補うことはもちろん、気も補うことが大切です。気が充実に、正に「飲む点滴」、夏の必需品です。

正脈散は点滴にも使

用されてきた歴史があ

り、正に「飲む点滴」、

夏の必需品です。

さらに血

管掃除が得

意な丹参を

併せれば、

心臓や脳の

負担が軽く

なるので、

夏の脳梗塞

まり、疲れにくくなり、元気でいられるようになります。

ります。

生脈散（しょうみやく

さん）には人参、麦門冬、

五味子という3つの生薬

が配合されていて、体の

◆飯島仁生堂薬局本店

足立区千住1-29-2

☎03-8881-2273

http://www.jinseido.co.jp



<第三十六話>